

都市再生整備計画

うぬまみなみまちちく
鵜沼南町地区

ぎふけん かかみがはらし
岐阜県 各務原市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	各務原市	地区名	鵜沼南町	面積	30.0 ha
計画期間	平成18年度～平成22年度	交付期間	平成18年度～平成22年度				

目標							
大目標『市の東の玄関口にふさわしい都市拠点整備』							
目標1: 新鵜沼駅周辺を重点的・一体的に整備することで交通結節点としての機能向上を図る。							
目標2: 分断された地域を結び地域の交流の活性化を図る。							
目標3: 本整備により利用者の安全を確保するとともに、誰にも優しいバリアフリーに配慮した都市拠点を目指す。							
目標設定の根拠							
まちづくりの経緯及び現況							
鵜沼南町がある鵜沼地区は各務原市新総合計画、又各務原市都市計画マスタープランにおいて東の都市拠点として位置付けられた地域であり、名鉄新鵜沼駅やJR鵜沼駅が隣接して立地するほか、駅前には名鉄バスや岐阜乗合自動車、各務原ふれあいバスが乗り入れを行っており、交通結節点として大きな役割を担っている。また、中部国際空港の開港にともない当駅を発着駅とした直通特急が運行されるなど、将来的にも各務原市においてその役割が高まってきており、周辺地域からの利用も見込まれることから、新鵜沼駅利用状況にふさわしい規模・機能を有する駅前広場としての機能向上が求められ、また交通の利便性を活用した東の都市拠点としてふさわしい整備が望まれる。							
当地区において、市では平成13年度より住民参加型で、各務原市の東の玄関口にふさわしい快適なまちを目指すべく、鵜沼南町まちづくり基本構想策定委員会及び基本計画策定委員会を発足させワークショップを十数回にわたり開催し検討を重ねてきた。その結果、JR鵜沼駅や名鉄新鵜沼駅等の公共交通機関の要所としての交通便利性、さらに木曽川沿いの美しい自然環境・景観を持ち合わせた地域特性を最大限に活かすための将来のまちづくり案が策定された。そのなかでも、新鵜沼駅前広場については重要整備箇所として位置づけている。							
課題							
・本地区はJR高山本線と名鉄犬山線・各務原線により地区が大きく3つに分断されている。そのため各地区を往来するためには大きく南北に迂回しなければならず地域間の交流を阻害している。							
・鉄道利用者は北はJR鵜沼駅、南は名鉄新鵜沼駅から入場し、駅間の連絡通路を利用し相互間を移動している。ただし、JR鵜沼駅は、跨線橋で横断しなければならないため車いす・ベビーカー使用者は利用が出来ず、高齢者や足の不自由な人にとっても移動がしにくくなっている。							
・新鵜沼駅前広場は、歩道と車道が物理的に区分されていない上に十分な広さが確保されていないため、歩行者の安全性に課題がある。また、車道も車線が分けられていないため通勤時間帯などは、危険な状態にある。							
将来ビジョン(中長期)							
各務原市新総合計画では市民の生活利便性を向上させ快適な都市環境を創出するためには、本市では一つの都市核ではなく複数の都市拠点の整備が求められており、積極的な形成を図っていく必要がある。そして本地区は東部の拠点として整備を推進することをうたっている。							
各務原市都市計画マスタープランで本地区は、本市の東の玄関口として駅前広場を整備するとともに、駅周辺市街地の整備に努めることや、犬山東町線バイパスの建設を促進するとともに、良好な市街地を整備するため、鵜沼東町・鵜沼南町において面的整備を推進することをうたっている。また、新鵜沼駅・鵜沼駅については、駅周辺の土地利用に合わせた交通バリアフリーを推進することを位置づけている。							
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
新鵜沼駅前広場利用者数	人/日	新鵜沼駅前広場における歩行者交通量	駅、広場、自由通路、道路の一体的な整備による利便性の向上により交通量の増加を目指す	4,700(人/日)	H16	4,900(人/日)	H22
自由通路利用者数	人/日	自由通路における歩行者交通量	〃	5,300(人/日)	H16	5,500(人/日)	H22
整備に対する利用者の満足度	%	駅利用者による満足度	駅利用者の半分程度が満足する環境を目指す	23.5(%)	H17	50(%)	H22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
・新鵜沼駅前広場の安全性・機能性を高め、バリアフリーに配慮した整備を行う 現在、新鵜沼駅前広場は大型バスがぎりぎり回転出来る程度の広さで十分な面積が確保されていない。また、歩車道及び各車線の分離もされていないため歩行者と車の動線が交わり危険性が高いうえに通勤時には一般車が不規則に停車しているためさらに危険となっている。このため本計画では、歩道と車道を分離し歩行者の安全を図るとともに、新鵜沼駅の利用規模に基づき公共交通の乗降所や一般送迎位置の数や配置を決め、明確に示すことで規則正しい交通処理が行われるよう整備する。また、整備は人にやさしく、わかりやすいバリアフリーに配慮したものとす。	■基幹事業 犬山東町線(道路)
・分断された地域を結びバリアフリーに配慮した自由通路の整備を行う 本地区は鉄道により大きく分断されており、それぞれの地区へは大きく迂回しなければならない。また鉄道利用においては、鵜沼駅側から新鵜沼駅を利用する人や新鵜沼駅側から鵜沼駅を利用する人は両駅を結ぶ駅構内の連絡通路を有料で移動しなければならない。しかし、階段が多く鵜沼駅の跨線橋等はエレベーターもなく急なため高齢者、身体障害者等には移動が難しい状態である。本計画では、鉄道利用者だけでなく地域住民も利用出来るよう新鵜沼駅前広場と鵜沼駅前広場を結ぶとともに中間にも階段を設けることにより分断された地域を結ぶ。また、屋根やエレベーター、エスカレーターなどバリアフリーにも配慮して整備を行う。	■基幹事業 人工地盤(高次都市)
・市道鵜932号線の安全性を高める道路整備を行う 本路線は、駅へのアクセスやその東西を結ぶ抜け道になっており、幅員4.5mと狭小にもかかわらず交通量が多く危険な状態にある。本計画では、幅員の拡幅を行うことにより歩行者や沿道住民の安全性の確保を図る。	■基幹事業 市道鵜932号線整備(道路)
・鵜沼南町7丁目から自由通路までの交通の利便性を高めるための道路整備を行う。 現在、鵜沼南町7丁目地内から自由通路中間降り口までの接続道路整備がされておらず、自動車はもとより、歩行者も安全に通行できる状態であるとはいえない。本計画により、歩行者、自動車が安全に通行できる接続道路を整備し、交通利便性の向上を図る。	■基幹事業 市道鵜1309号線道路整備(道路)
・駅前広場や自由通路と連続したバリアフリーに配慮した駅の整備を行う 現在の鵜沼駅は、段差や急で狭い跨線橋により利用しにくい状況にある。駅前広場が新しく整備され、これから自由通路により利便性が向上するとともにバリアフリーにも配慮されたものとなる。しかし、それに連続する鵜沼駅が現状ではそれらの整備効果が活かされていない。鵜沼駅を橋上化し、自由通路と一体化させるとともにエレベーターや多目的トイレ、案内表示などバリアフリーに配慮した整備を行い、周辺施設と連続した総合的な整備とする。	■提案事業 JR鵜沼駅橋上化整備(地域創造支援事業)

その他

当地区において、平成13年度より住民参加型で、各務原市の東の玄関口にふさわしい快適なまちを目指すべく、鵜沼南町まちづくり基本構想策定委員会及び基本計画策定委員会を発足させワークショップを十数回にわたり開催し検討を重ねてきた。その結果、JR鵜沼駅や名鉄新鵜沼駅等の公共交通機関の要所としての交通利便性、さらに木曾川沿いの美しい自然環境・景観を持ち合わせた地域特性を最大限に活かすための将来のまちづくり案が策定された。そのなかでも、新鵜沼駅前広場については重要整備箇所として位置づけられている。

本計画は、それぞれの整備を重点的に一体的に行うことで、東の拠点としての機能の向上を図る。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	3,500	交付限度額	1,400	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
	道路	街路	犬山東町線	各務原市	直	5100㎡	H18	H20	H18	H20	1,051	1,051	1,051		1,051
	道路	道路	市道鶉932号線	各務原市	直	170m	H21	H22	H20	H22	84	84	84		84
		道路	市道鶉1309号線道路整備	各務原市	直	100m	H19	H21	H20	H22	157	157	157		157
	公園														
	河川														
	下水道														
	駐車場有効利用システム		—			—									
	地域生活基盤施設		—			—									
	高質空間形成施設		—			—									
	高次都市施設		—	各務原市、JR東海、名古屋鉄道	直	263m	H18	H21	H18	H21	1,826	1,826	1,648	178	1,648
	既存建造物活用事業		—			—									
	土地区画整理事業														
	市街地再開発事業														
	住宅街区整備事業														
	地区再開発事業														
	バリアフリー環境整備促進事業														
	優良建築物等整備事業														
	住宅市街地総合整備事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型													
	街なみ環境整備事業														
	住宅地区改良事業等														
	都心共同住宅供給事業														
	公営住宅等整備														
	都市再生住宅等整備														
	防災街区整備事業														
		合計									3,118	3,118	2,940	178	2,940
提案事業															
	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
	地域創造支援事業	JR鶉沼駅橋上化整備	鶉沼駅	各務原市、JR東海	直	322.6㎡	H18	H21	H18	H21	560	560	560		560.0
														0	
														0	
	事業活用調査		—			—								0	
			—			—								0	
	まちづくり活動推進事業		—			—								0	
			—			—								0	
		合計									560	560	560	0	560
														合計(A+B)	3,500

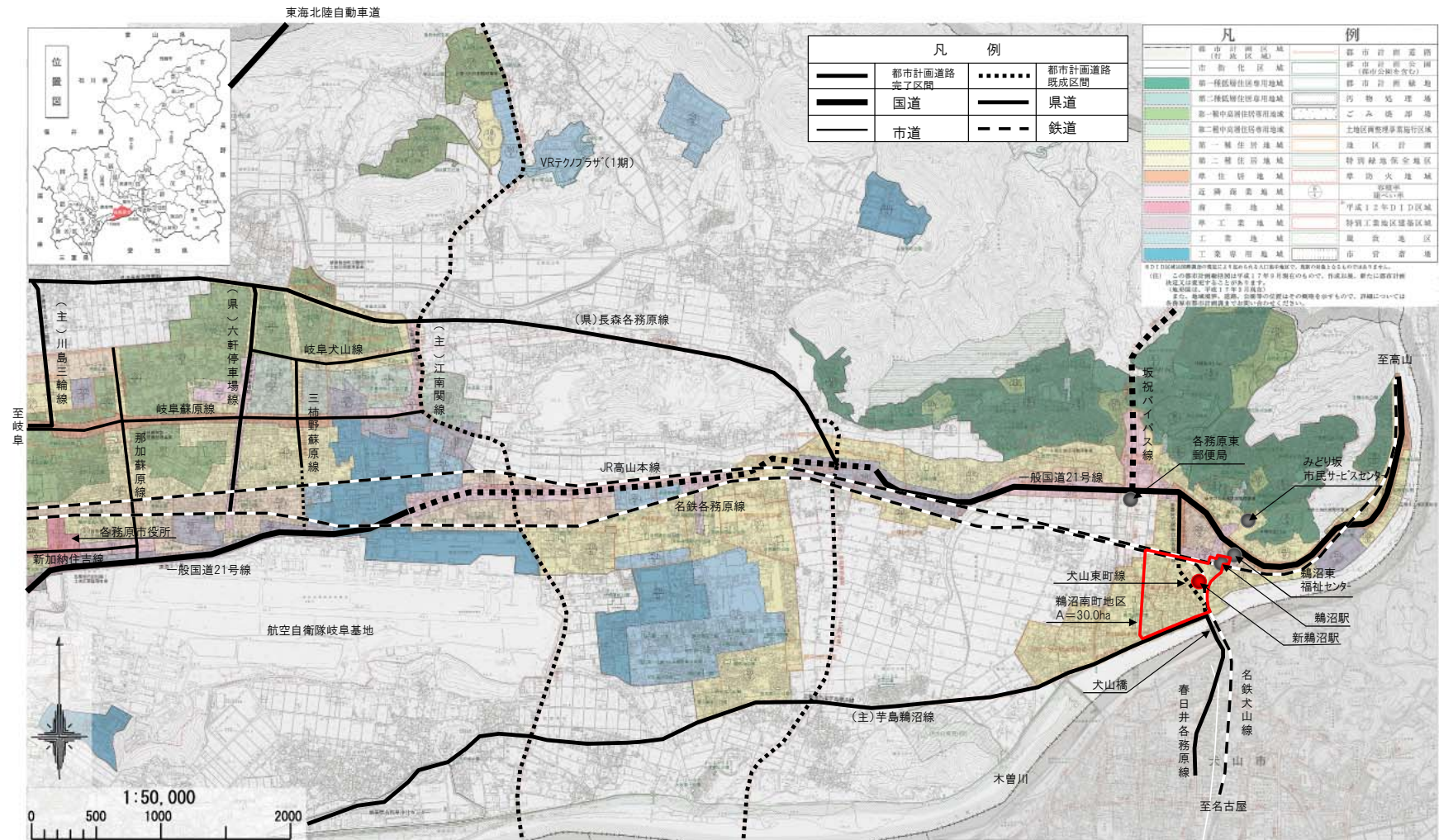
[illegible]

鵜沼南町地区(岐阜県各務原市)

30.0 ha

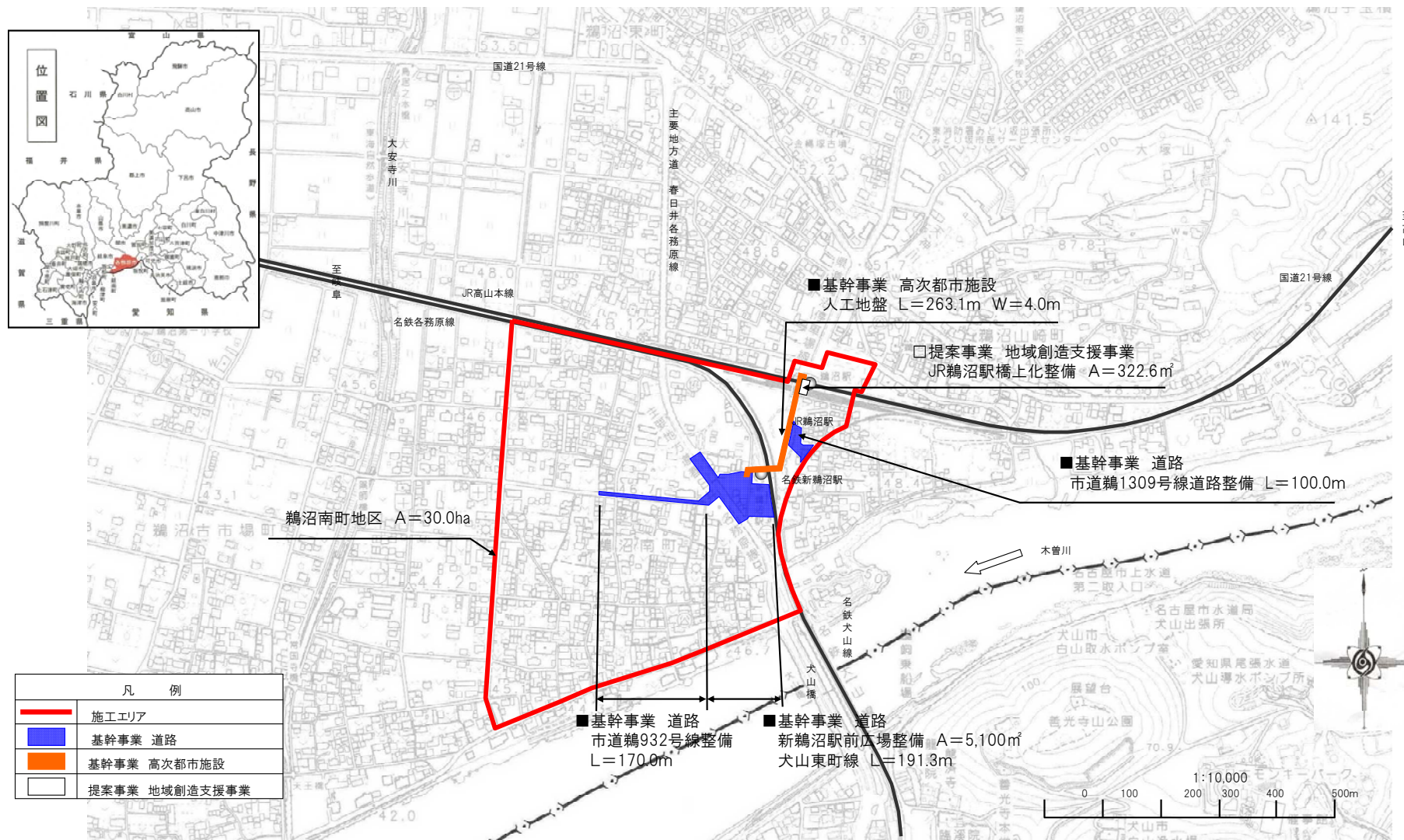
区域	项目	数量	单位	备注
第一区域	项目A	10	个	
	项目B	20	个	
	项目C	30	个	
	项目D	40	个	
第二区域	项目A	15	个	
	项目B	25	个	
	项目C	35	个	
	项目D	45	个	
第三区域	项目A	20	个	
	项目B	30	个	
	项目C	40	个	
	项目D	50	个	
第四区域	项目A	25	个	
	项目B	35	个	
	项目C	45	个	
	项目D	55	个	
第五区域	项目A	30	个	
	项目B	40	个	
	项目C	50	个	
	项目D	60	个	
第六区域	项目A	35	个	
	项目B	45	个	
	项目C	55	个	
	项目D	65	个	
第七区域	项目A	40	个	
	项目B	50	个	
	项目C	60	个	
	项目D	70	个	
第八区域	项目A	45	个	
	项目B	55	个	
	项目C	65	个	
	项目D	75	个	
第九区域	项目A	50	个	
	项目B	60	个	
	项目C	70	个	
	项目D	80	个	
第十区域	项目A	55	个	
	项目B	65	个	
	项目C	75	个	
	项目D	85	个	

或 鵜沼南町5丁目



鵜沼南町地区(岐阜県各務原市) 整備方針概要図

目標	市の東の玄関口にふさわしい都市拠点整備	代表的な指標	新鵜沼駅前広場の利用者数 (人/日)	4,700(人/日) (平成16年度) → 4,900(人/日) (平成22年度)
			自由通路の利用者数 (人/日)	5,300(人/日) (平成16年度) → 5,500(人/日) (平成22年度)
			整備に対する利用者の満足度 (%)	23.5(%) (平成17年度) → 50(%) (平成22年度)



凡 例	
	施工エリア
	基幹事業 道路
	基幹事業 高次都市施設
	提案事業 地域創造支援事業